

2023年2月28日  
株式会社日立製作所

**日立製作所のエネルギー事業のコンセプト・取り組みを紹介する広告を、  
日立市を走行するラッピングバスと JR 日立駅のデジタルサイネージに掲出  
日立地区の工場を中心としたエネルギー事業の成長を、地域住民などステークホルダーに訴求**



3月1日から運行開始するラッピングバス

株式会社日立製作所(以下、日立)は、2023年3月1日から、茨城県日立市において、同市内を運行する茨城交通株式会社(以下、茨城交通)の路線バスへのエネルギー事業の広告グラフィックのラッピングと、JR 日立駅改札内のデジタルサイネージへのエネルギー事業の広告映像の掲出を開始します。本取り組みは、事業ポートフォリオの入れ替えなどにより、日立市における事業内容は大きく変化したものの、今後も同市内の工場が中心となり、日立のエネルギー事業を成長させていくという意志を、地域住民をはじめとしたステークホルダーに示すものです。

日立は今回、茨城交通の2台の路線バスを、日立のエネルギー事業の広告グラフィック「グリーンな未来を、デジタルで。」でラッピングします。本広告は、緑色のクレヨンで描かれた人と自然が調和している世界の絵を、デジタルを想起させる粗いドットで表し、当社がグリーンテクノロジーとデジタルソリューションで、カーボンニュートラル実現に向けて取り組んでいく様子を表現しています。ラッピングバスは、JR 日立駅の北部方面を運行する神峰営業所運行ルートと、南部方面を運行する日立南営業所運行ルートの2路線内を毎日ランダムに運行します。

JR 日立駅改札内のデジタルサイネージには、日立の 2024 中期経営計画と連動したタグライン「Hitachi Social Innovation is POWERING GOOD」を体現する企業広告映像シリーズの「エネルギー編」(30 秒)\*を放映します。映像では、AI とドローンを活用した風力発電設備向けの先進的な保守サービスと、商用電気自動車向け EV 充電システムなど、カーボンニュートラル実現に向けた当社の取り組みを紹介します。

\* Hitachi Social Innovation is POWERING GOOD - 「エネルギー編」(30 秒) (<https://www.youtube.com/watch?v=hi-FmXpZkkk>)



ラッピングバス(斜め前方から)



ラッピングバス(斜め後方から)



広告部分のアップ

#### ■日立製作所について

日立は、データとテクノロジーでサステナブルな社会を実現する社会イノベーション事業を推進しています。金融・官公庁・自治体・通信向け IT サービスやお客さまの DX を支援する「デジタルシステム&サービス」、エネルギーや鉄道で脱炭素社会の実現に貢献する「グリーンエナジー&モビリティ」、産業流通、水インフラ、ヘルスケア、家電・空調システム、計測分析システム、ビルシステムなどの幅広い領域でプロダクトをデジタルでつなぐ「コネクティブインダストリーズ」と、自動車・二輪車の分野で先進技術を提供する「オートモティブシステム」の事業体制のもと、IT や OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用する Lumada ソリューションを通じてお客さまや社会の課題を解決します。グリーン、デジタル、イノベーションを原動力に、お客さまとの協創で成長をめざします。2021 年度(2022 年 3 月期)の連結売上収益は 10 兆 2,646 億円、2022 年 3 月末時点で連結子会社は 853 社、全世界で約 37 万人の従業員を擁しています。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

以上